



北海道東川養護学校 学校便り

令和5年 4月 28日発行

# いなほ

第2号

〈発行責任者〉  
校長 松岡 達也



## 「わくわく、ドキドキ」

小学部 佐藤 健

新しい人、新しい場所、たくさんの“新しい”にかこまれて新年度が始まりました。たくさんの新しいに、「わくわく」いっぱいの期待と、「ドキドキ」少しの不安、保護者の皆様にとっても、期待と不安が入り交じっての新学期かと思います。たくさんの新しいが少しずつ減るのとともに「ドキドキ」の不安が「わくわく」へと変わるように、私たち職員が、ほんの少しでも子ども達と保護者の皆様の背中を押していけるように取り組んでいきます。2名の新入生を迎え50名の小学部、子ども達の成長を温かく、そして気長に見守っていただくよう、1年間よろしくお願いします。



## 「出会いの春」

中学部 佐藤 純平

今年度中学部1年生は4名の新しい仲間が入学し、中学2年生9名、中学3年生15名と合わせて中学部全体28名となりました。緊張と不安の中スタートした1年生も新しい仲間や先生、教室にも徐々に慣れ、新入生歓迎会へ向けた自己紹介の練習と学級設営に取り組んでいます。

中学部では、校内作業、体育大会、現場実習、東川養護祭、歩くスキー大会など多くの行事へ取り組みます。その学習の中で、一人ひとり生徒に寄り添い将来の進路に繋がる力を育成していきます。

保護者をはじめ、中学部生徒に関わるすべての関係者の皆様、1年間よろしくお願いします。



## 新年度を迎えるにあたって「笑顔でつながる」

高等部 川森 猛司

令和5年度を迎え、例年になく高等部校舍付近の雪が早く解けました。春風が吹くとともに、春の日差しを感じられる季節となりました。外の虫たちも活発に動き始め、学校周辺の草木も色づいてきています。

さて、過日行われた入学式では、新たに13名の1年生が入学し、高等部は総勢32名となりました。入学式では、緊張した様子も見られましたが、1年生全員が揃って体育館へ入場することができました。新たな友達や先生方との出会いもあり、笑顔で挨拶したり会話したりする場面がありました。

また、2、3年生は登校後も慣れた様子で、昨年度までの経験が生きており、高等部2、3年生の生徒らしく見通しをもって積極的に学習へ取り組む様子が見られ、成長していると実感しています。今後も体力づくりや作業学習、選択教科など、縦割り班の活動を経験する中で生徒同士が協力するとともにお互いを高め合いながら学習に取り組んでほしいと思います。

高等部の3年間はあっという間に過ぎます。限られた時間の中で卒後の生活を念頭に置きながら、一人ひとりの目標や課題について「自分で解決する力」を少しずつ身に付けながら素敵な社会人になるよう指導、支援をしています。

新型コロナウイルス感染症はまだ収束する様子はありませんが、コロナ禍前の活動ができるように戻りつつあります。face to face（フェイス トゥー フェイス）で良い交流が深まるとともに、生徒、保護者、教師が「笑顔でつながる」ことができたと思います。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様方にもご支援、ご協力をいただきながら学習活動を推進していきますので、令和5年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



## 3年ぶり！対面での始業式を行いました！

訪問教育学級 細 川 純 子

医療機関・施設ではまだまだ気を抜いてはいけな感染症の状況ですが、関係機関のご協力をいただき、対面での1学期始業式を3年ぶりに行うことができました。校長先生や教頭先生から直接話を聞けると気持ちが引き締まるようで、子ども達は自ら姿勢を正したり歯切れの良い返事を返したりと、新年度の意気込みをより一層感じることができました。

一部オンラインを活用して実施しました。同じ場所を共有することはできない離れた友達と初めて話したり声を聴いたりすることができて、オンラインの良さも痛感。今後も両方の良さを上手に活用していきたいと思います。

今年度は、小学部2名、高等部4名の6名で訪問教育学級がスタートしました。

病院の入退院に合わせた転出入が多く、さらに同じ場所に集うことが難しい訪問教育学級ですが、みんなで協力して一つのカレンダーを作成するなど、今年度もできる範囲で「仲間」を意識した活動に取り組んでいきたいと考えています。子ども達に寄り添い、頑張りを支える訪問教育学級でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 「地域とのつながりある取り組み」

子供支援部 佐々木 一

子供支援部では、特別支援学校のセンター的機能を果たすため、5名の特別支援教育コーディネーターを中心に、東川町や東神楽町、当麻町、旭川市の特別支援教育に関わる様々なニーズに応じています。

一例として、本校の所在地でもあります、東川町とは以下のような取り組みを行っています。



- ① 保健師や発達支援センター職員と連携した「1歳半・3歳児健診への参加と助言」
- ② 幼児センターや小中学校、高等学校からの要請に応じて、障害のあるお子さんの指導支援について助言を行う「パートナー・ティーチャー派遣事業」「たいせつネット訪問相談事業」
- ③ 町内の特別支援教育の充実を図るために各関係機関と連携、研修を行う他、お子さんの学びの場について検討する「教育支援委員会への参加」

子供支援部では、東川町をはじめ近隣の市町村のニーズに応じた取り組みを新型コロナウイルス感染状況のなかにおいても、可能な限り参加及び実施できるように推進していきたいと考えています。お子さんのそだちにかかわるご相談がありましたら子供支援部までご連絡ください。

※本校では、学校ホームページを適時、更新しておりますので閲覧ください。

<http://www.higashikawayougo.hokkaido-c.ed.jp/>

